

# 令和7年度 学校評価 教職員アンケート

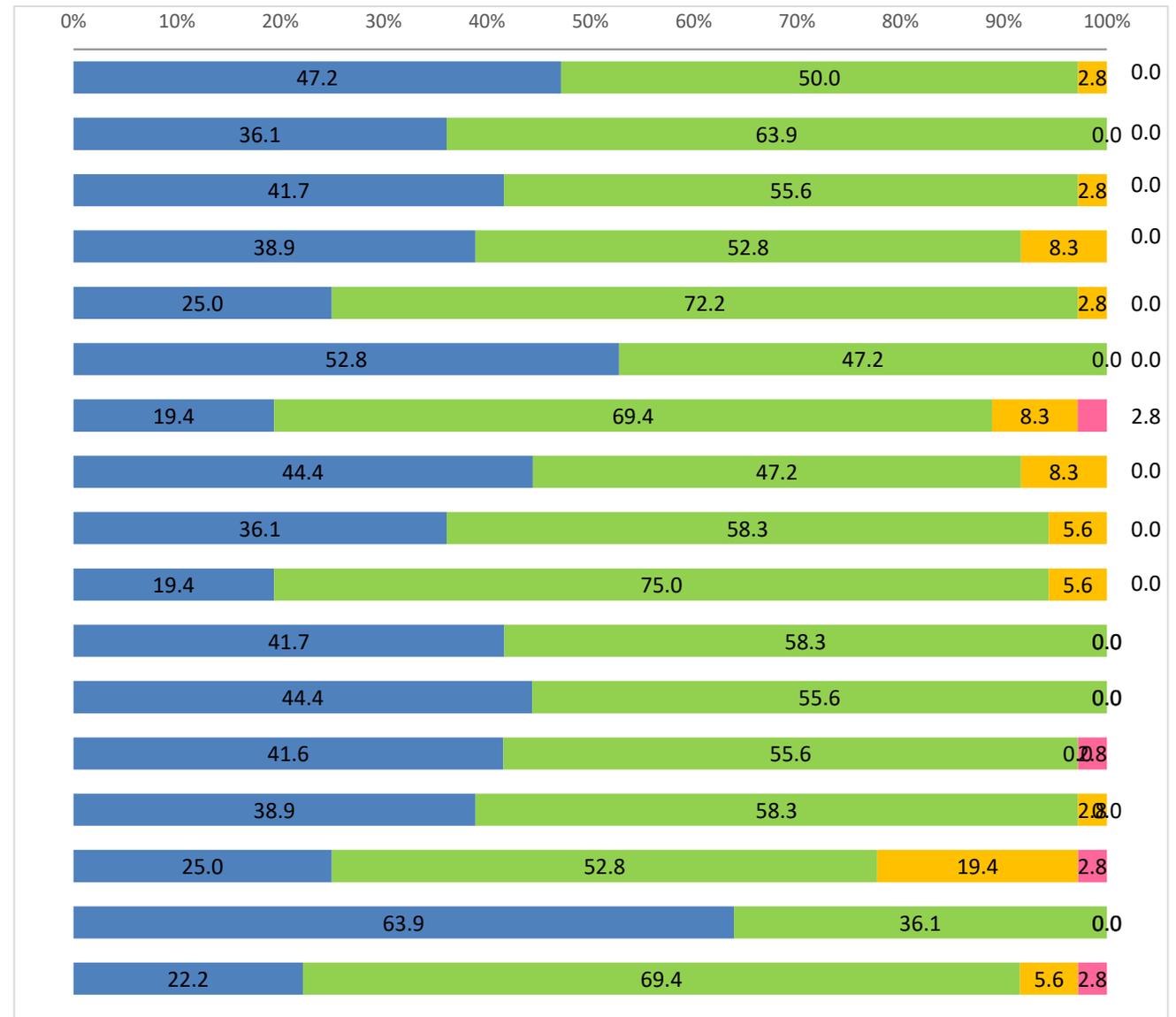
## 学校生活について

1 実施 令和7年12月

2 対象 教職員（回答36）

A そう思う B どちらかというと思う  
C どちらかというと思わない D そう思わない

番号	アンケート項目	回答（パーセント）				A+B
		A	B	C	D	
1	子どもの理解に努め、子どもの居場所がある学級づくりに努めているか。	47.2	50.0	2.8	0.0	97.2
2	子どもを多面的にとらえ、教師・児童相互の共感的人間関係づくりに努めているか。	36.1	63.9	0.0	0.0	100.0
3	自分の思いや考えを表現できる子どもの育成に努めているか。	41.7	55.6	2.8	0.0	97.3
4	「学び合い」の授業づくりに努めているか。	38.9	52.8	8.3	0.0	91.7
5	読み・書き・計算の指導を工夫し、学ぶための基礎・基本の力を伸ばしているか。	25.0	72.2	2.8	0.0	97.2
6	授業力、指導力向上のために研鑽を積んでいるか。	52.8	47.2	0.0	0.0	100.0
7	道徳の時間を充実させて、道徳性の涵養と実践力の向上に努めているか。	19.4	69.4	8.3	2.8	88.8
8	気持ちのよいあいさつ、「ありがとう」の感謝のことばが言える子どもを育てているか。	44.4	47.2	8.3	0.0	91.6
9	望ましい食習慣が身に付くよう指導を工夫している。	36.1	58.3	5.6	0.0	94.4
10	体力づくりを推進するとともに外遊びを奨励しているか。	19.4	75.0	5.6	0.0	94.4
11	安全点検・安全指導に努めているか。	41.7	58.3	0.0	0.0	100.0
12	相談活動を進めることで子どもの心の理解に努めているか。	44.4	55.6	0.0	0.0	100.0
13	学校と家庭・地域との連携を深めているか。	41.6	55.6	0.0	2.8	97.2
14	分かる授業、楽しい授業づくりに努めているか。	38.9	58.3	2.8	0.0	97.2
15	地域教材や地域講師を生かした学習活動の展開を工夫しているか。	25.0	52.8	19.4	2.8	77.8
16	いじめをなくすように努力している。	63.9	36.1	0.0	0.0	100.0
17	校務支援システムの活用を図り、事務効率をあげている。	22.2	69.4	5.6	2.8	91.6



- (1)「1」、「13」以外は昨年度よりもA+Bの値が上昇又は2年連続で100%である。児童に寄り添って支援していこうとする教師の思いの表れと考えられる。「1」、「13」については、昨年度よりもわずかに下落しているが大きな変化はない。
- (2)「3」については、本校で特に力を入れている点であり、A+Bの値が昨年度よりも9%ほど上昇した。児童アンケートでも同様の項目のA+Bの値が上昇しているように、自信をもって話す児童を見て、教師も自信をもって指導し、結果を実感していることが分かる。「6」のA+Bの値が、100%になっていることも本校職員の自信につながっていると考えられる。
- (3)「8」の値は6%ほど上昇している。児童アンケートでも同様の項目のA+Bの値が上昇しているように、重点を置いて取り組んできたことが児童や教師の意識の変化につながっていると考えられる。
- (4)「9」は新規項目。これまでも食育の充実を図ってきたが、学校全体で目標や手立て、給食時間の過ごし方などの共通理解を図り、学校全体で取り組んでいく。
- (5)「15」は、A+Bの値が昨年度よりも9%上昇しているものの課題でもある。地域学校協働活動推進員や保護者との連携を図り、学習活動の充実を図っていく。
- (6)C、Dの評価がある項目は、いずれも課題である。特にDの評価がついている項目は「道徳教育」、「地域連携」、「教員の働き方」に関することである。道徳の授業の充実、地域学校協働活動推進員との連携や授業参加への広報活動、ペーパーレス化をさらに推進していく。